

英語科学習指導案

日時：令和 5 年 2 月 4 日(土)5, 6 限
(13:20~14:10 / 14:20~15:10)
対象：第 3 学年 C, D 組(各 36 名)
授業者：青木 宏明

1. 単元名

Lesson7 USE Speak~20 歳の自分にビデオメッセージを送ろう
(NEW CROWN English Series 3, 三省堂)

2. 単元の目標

卒業記念のビデオメッセージを作るために、20 歳の自分に伝えたいメッセージや質問について、自分の考えや気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いて話す。

3. 単元の評価規準 *【 】は評価方法

(I) 知識・技能	(II) 思考・判断・表現	(III) 主体的に学習に取り組む態度
これまで学習した文法・語彙を理解し、自分の伝えたい内容に合ったものを選択することができる。 【スピーチ原稿】	①20 歳の自分に伝えたいメッセージについて、内容を整理し、相手に伝わりやすい語彙を用いて、英文を書くことができる。 【スピーチ原稿】 ②20 歳の自分に伝えたいメッセージについて、自分の考えや主張が明確に伝わるように、表現方法を工夫して話すことができる。 【発表動画・相互評価】	①ICT 機器を活用し、より良いスピーチになるように、主体的に自己研鑽できる。【観察・自己評価】 ②班の生徒と協同し、意見を出し合うことで、より良いスピーチになるように工夫しようとしている。 【観察・自己評価】

4. 指導観

本単元は「20 歳の自分へのビデオメッセージ」と題し、今の自分の現状や、自分の将来について内省・想像し、他者へ英語で発信するスピーキング活動である。この取り組みを通し、これまでの中学校 3 年間の経験や築いてきた他者との関係を振り返り、時間の経過とともに自分がどのように成長し、変化してきたかを改めて考える機会となる。また、自身の決意表明として将来の夢や希望を述べたり、未来の自分の共感を得られるように問いかけたりすることで、これから高校という新たな段階へと踏み出していく生徒にとって、自分の原動力となる価値観や信念を見出すきっかけにもつながる。さらに、このビデオメッセージを他の生徒と共有することで、個人と他者がつながり、聞き手に対して今後の生き方という点で新たな気づきの場にもなると考える。今回のスピーチにおける対象は、大勢の聴衆ではなく、未来の一人の自分への語り掛けであるため、目の前に相手がいるというシチュエーションをイメージして表現方法を工夫する必要があるという点が特徴的である。

本授業におけるねらいとして、パフォーマンス課題における ICT 機器やツールの活用により、生徒の学習効果を大幅に高めることができるという点がある。

例えば、AI によるテキスト読み上げサイト(Azure text-to-speech)や英文添削サイト(DeepL Write)などを活用することで、生徒自らが英語らしい流ちょうな発音や適切な英語表現を獲得することを可能にする。これにより、生徒の自主自立的な学びや、個々の言語知識や運用能力に適した指導へとつなげたい。また、オンラインでの意見集約サイト(Mentimeter)や Google スプレッドシートを活用し、より相手に伝わりやすいスピーチの表現方法や自身のパフォーマンス評価をクラス全体で共有することで、生徒の活動への参加意欲やモチベーションを高めることが可能になる。

これらの ICT を活用した取り組みに加え、クラス内の他者との協同を経て、生徒が主体的に自己研鑽を重ねることで、より質の高いパフォーマンスタスクを獲得できることをねらいとした授業を展開したい。

5. 単元の指導計画と評価計画 (全 4 時間扱い)

時	本時のねらい	学習内容・学習活動	評価規準
第 1 時	①モデル動画を視聴し、より伝わりやすいスピーチの表現方法を考えよう！ ②スピーチのアイデアとなるキーワードをたくさん見つけよう！	・本活動のねらい・流れを説明する。 ・Chromebook でハナのメッセージ動画を視聴する。 ▶スピーチでうまく相手に伝えるポイントを Mentimeter で集約し、生徒全体で共有する。 ・ワークシートに、発表内容のキーワードを記入し、マインドマップを作成する。 (原稿作成は自宅課題)	(I) (II)-①
第 2 時	①班で協力し、さらにクオリティの高い原稿にしよう！ ②原稿を何度も読み、自分の言葉として伝えられるようにしよう！	・DeepL Write を活用し、4 人班で互いの原稿を見合い、より適切な表現を選択し、修正を加える。 ・Azure Text-to-speech を活用し、シャドーイングにより、英語らしい発音のポイントをつかむ。 ・原稿の中で、自分が強く伝えたいメッセージに色を付け、発表練習の際に識別できるようにする。 ・前時に共有した Mentimeter スライドから、自分の発表で意識したいポイントを選ぶ。	(III)-①②
第 3 時	発表リハーサル ~班で互いの発表を見合い、より伝わりやすいスピーチになるよう修正しよう！	・個人で発表練習をし、Chromebook で動画を撮影する。 ・4 人班で互いの動画を見合い、評価したものを Google スプレッドシートに集約し、班内で共有する。	(II)-②
第 4 時 【本時】	以下、7. 本時に記載		

